

学校給食費の公会計化の検討状況について

1. 公会計化とは

学校給食費を市町村の会計に組み入れる「公会計制度」を採用する制度です。

文部科学省では、教員の業務負担の軽減等に向け、学校給食費の公会計化を促進すると共に保護者からの学校給食費の徴収・管理業務を市町村が自らの業務として行うことを推進しています。

2. 見込まれる効果

①教職員の業務負担の軽減

→督促業務等から解放され子供に向き合う時間や授業時間の確保、改善が可能となります。

②保護者の利便性が向上

→市の指定する金融機関の中から保護者にとって最も都合のいい金融機関を選択することが可能となります。

③学校給食費の徴収・管理業務の効率化

→徴収・管理業務を行う職員の配置による業務効率化を図ります。

④学校給食費の管理における透明性の向上

→公会計化により管理監督機能が強化し、透明性が向上します。

⑤学校給食費の徴収における公平性の確保

→徴収部門との連携が迅速になり、督促の強化を図ることができます。

3. 国からの補助金

文部科学省より令和7年度補正予算として、今年度「学校給食費公会計化等推進事業費補助金」が創設されました。公会計化のため、今年度中に学校給食費管理システムを導入する自治体に対し、補助率2分の1、上限500万円の補助をする内容であることから、本市においても、事業の実施について、現在関係部署と協議中です。